

# 1977

あの日から40年

# 2017

1976年(小6)新潟に引っ越すと、海が珍しくて、みんなで見に行った。1年後、この海岸近くでめぐみさんは姿を消した。新潟市の寄居浜海岸で。

## めぐみちゃんと家族のメッセージ 横田 滋 写真展

2017.1.5(木) - 10(火)

新宿高島屋11階 特設会場 **入場無料**

ご入場時間：午前10時～午後7時30分(8時閉場)

※ただし1月6日(金)・7日(土)は午後8時まで(8時30分閉場)、

最終日10日(火)は午後5時30分まで(6時閉場)。

主催 あさがおの会 | 共催 朝日新聞社 | 後援 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県



# めぐみちゃんと家族のメッセージ 横田 滋 写真展

2017.1.5(木) - 10(火)

新宿高島屋11階 特設会場 **入場無料**

ご入場時間：午前10時～午後7時30分(8時閉場)

※ただし1月6日(金)・7日(土)は午後8時まで(8時30分閉場)、  
最終日10日(火)は午後5時30分まで(6時閉場)。

主催 あさがおの会 | 共催 朝日新聞社 | 後援 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県



誕生から入園、入学、運動会、ハイキング、お稽古ごと…。

ファインダー越しに慈しんで愛する我が子の笑顔と成長。その写真の数々を見ると、微笑ましい普通の時間がある日突然途切れてしまったことに、誰もが憤りと深い悲しみを抱くことでしょう。

横田滋さん・早紀江さんは、拉致という事実を多くの人に考えていただきたいと、宝物のように大切にしている写真をご覧いただく機会を各地で設けてきました。横田めぐみさんが家族から引き離されたのは13歳のとき。家族の何気ないしあわせの思い出を綴れなくなってから、実に40年の月日が過ぎました。その間、一度は見えた希望の光もまた遠のき、遅々として進展が見られない日々。



## 40年の歳月を経てもなお、めぐみさんを取り戻せないご家族の思い。どうか心に留めてください。

「海の水が悲しくて、桜が咲くと悲しくて、雪が降ればもっと悲しくて…」それでも希望を失わなかった早紀江さん。「私達は写真に写っているかつての楽しかった時間を取り戻したいのです」という滋さん。ご家族の心からの願いが、どうか一刻も早く叶えられますようにと、祈らずにはいません。



近所の方から銭別として駅でいただいたもの。ずっと抱いて新潟まで行った思い出の人形。



新潟で、6年生のお誕生日に仲の良いお友達から貰ったオルゴール。



9年間続けたバレエをやめ、めぐみさんはバドミントンに専念する。拉致される少し前、最後の公演で着た衣装は見るのが辛く、しまい込まれていた。



上:1972年(小2)旅行中の車中で早紀江さんが撮影した一コマ。家族旅行が何よりも楽しみだった。  
中:1974年(小4)家族旅行で、お母さんに寄り添って記念撮影。広島県呉市の音戸の瀬戸公園で。  
下:1977年(小6)新潟で迎えた最初のお正月、初めて母親の着物の袖を通した。新潟市の自宅で。



### いけがみ あさら よこた さきえ 池上 彰さんと横田 早紀江さんの対談

池上彰さんからのメッセージ

「横田めぐみさんが拉致されて40年の節目の年に、早紀江さんのお話をうかがいながら、皆さんと一緒に考えましょう」

●1月5日(木)午後2時 ●新宿高島屋 ウェルカムゾーン2階 ●出演者：池上 彰さん 横田 早紀江さん ※都合により、予告なく中止・変更になる場合がございます。

池上 彰(いけがみ・あさら)さん プロフィール

ジャーナリスト、元NHK記者。1950年長野県生まれ。わかりやすいニュース解説に定評があり、テレビ・ラジオの出演、著書多数。朝日新聞に1回「池上彰の新聞ななめ読み」を連載中。

※展示内容の一部は、予告なく変更になる場合があります。